

相 談 事 例

ID : 02-02-039

相談タイトル

2年前に実施した屋根塗装替工事の不具合のやり替えについて

Q：ご相談内容

2年ほど前にカラー鉄板葺き屋根の塗装替え工事をリフォーム業者に依頼し実施した。遮熱性能のある塗料で塗り替えたが、2年もしないうちに塗膜が10cm角位の大きさで各所剥がれてきてしまった。5年間の保証が付いていたので、業者に連絡しやり直しを依頼したが、今回剥がれてしまったことの原因も説明してくれず、やり直しの工事についても今回は、剥がれないようにどういった部分を配慮して実施する等、何らの説明もなく、最も安上がりな方法で、塗り直しを行う模様である。どのように対応したら良いか聞きたい。

A：回答

金属板の塗装替えについては、下地調整及び素地と塗料との接着性が最も重要になります。下地の十分な清掃やケレン等による錆落としや汚れ落としが重要でありプライマー塗りなどにより下地と塗料との接着性を確保することなどが重要です。

その様なことを踏まえておいて、やり直しを行う塗装の仕様を十分に説明を受け、疑問に思う点は質問も行い、納得のいく施工方法でやり直しを行って下さい。説明を求めても十分に対応してくれないようでしたら、可能であるならば、同業である他の塗装業者に参考に施工方法等を聞いてみることも一つの方法となります。